

月における液体相の高圧合成による炭素含有物質変化について

On carbon-bearing material changes to liquid phases by high-pressure processes on the Moon

三浦 保範 [1]

Yasunori Miura[1]

[1] 山口大・理・地球科学

[1] Earth Sci., Yamaguchi Univ

本研究における月面物質の変化について、下記のようにまとめられる。

1) 月面には大気と海水がないので、地球型の3状態の物質変化はない。しかし固体内部で局所的でも物質変化があれば、月に広く活動的な物質変化を促進すると考えられる。

2) 月の地殻内部で、岩石の静的な高圧化、または巨大な（または様々な衝撃波）衝突時に、発生したガス気体が、高圧で液体化する物質（炭酸ガス）が存在すると考えられる。

3) 液体化した炭酸ガス（液体）が、月面の物質変化を促進する（3状態）月型物質循環を推進する。

4) この高圧液体化が、月型の火山現象（ガラス形成）また衝突高圧化した隕石孔付近での物質変化を進めている。

5) 炭酸ガスによる物質変化実験を行いその実験例を示し、炭素含有物質が月面での物質変化を示す活動物質であることを説明する。